



2025年 9 月12日

各 位

会 社 名 株式会社REVOLUTION
代表者名 代表取締役社長 砂川 優太郎
(コード番号8894 東証スタンダード)
問合せ先 代表取締役社長 砂川 優太郎
(TEL. 03-6627-3487)

(訂正・数値データ訂正)
「2025年10月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、2025年8月25日に開示いたしました表記開示資料の一部を訂正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

会計方針の変更に関する箇所、セグメント情報等の注記に関する箇所及び中間連結財務諸表における組替の訂正が生じました。会計方針の変更については、監査法人から指摘を受けたことによります。なお、サマリー情報の数字に関する部分の訂正はございません。

2. 訂正箇所

訂正箇所は____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上



2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月25日

上場会社名 株式会社REVOLUTION 上場取引所 東
コード番号 8894 URL <https://revolution.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）砂川 優太郎
問合せ先責任者（役職名）代表取締役社長（氏名）砂川 優太郎 TEL 03-6627-3487
半期報告書提出予定日 2025年9月12日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年10月期中間期	14,251	—	△3,124	—	△3,080	—	△17,141	—
2024年10月期中間期	400	13.1	△189	—	△193	—	△196	—

（注）包括利益 2025年10月期中間期△17,730百万円（—％） 2024年10月期中間期 77百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期中間期	△148.58	—
2024年10月期中間期	△3.03	—

（注）2024年10月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2024年10月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、2024年10月期中間期の1株当たり中間純利益を計算しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年10月期中間期	47,717	1,303	2.6	10.84
2024年10月期	51,628	19,054	35.6	163.81

（参考）自己資本 2025年10月期中間期 1,264百万円 2024年10月期 18,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年10月期	—	0.00			
2025年10月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	33,584	△6.0	△4,330	—	△3,877	—	△17,255	△149.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社（社名） 株式会社REVO GINZA 1、除外 1社（社名） —
株式会社REVO GINZA 2

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期中間期	116,678,357株	2024年10月期	112,148,557株
② 期末自己株式数	2025年10月期中間期	27,153株	2024年10月期	7,005株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年10月期中間期	115,369,142株	2024年10月期中間期	64,654,411株

(注) 2024年10月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2024年10月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、2024年10月期中間期の期中平均株式数（中間期）を計算しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概要	2
(2) 当中間期の財政状態の概要	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概要

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善、インフレの収束傾向、インバウンド需要の回復など、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中関係や国際的な紛争等の地政学的リスクが貿易やエネルギー、原材料価格等に影響を与えており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業領域である不動産市場においては、金利が低水準で推移し、円安基調が続いていることを背景に、国内外の投資家による日本の不動産への投資姿勢は依然として堅調なものの、土地価格及び建設工事費等の高騰による不動産価格の上昇、高止まり等、注意を要する状況でもあります。また、クラウドファンディング事業においては、低金利環境を背景に、安定したリターンを求める小口投資家や個人投資家の投資意欲は底堅く、クラウドファンディングプラットフォームへの関心が引き続き強い状況です。

このような状況下、当社では、前連結会計年度においてリパーク株式会社、株式会社REGALE及びWeCapital株式会社を子会社化し不動産事業及びクラウドファンディング事業の拡大を進めました。また、不動産事業の拡充を目的として、2024年12月25日に株式会社REVO GINZA 1 及び株式会社REVO GINZA 2 を完全子会社化致しました。なお、当中間連結会計期間からWeCapital株式会社グループの損益の計上を開始しておりますので、前年同期と比較し、損益に大きな変動が出ております。

その結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高は14,251百万円（前中間連結会計期間は売上高400百万円）、営業損失は3,124百万円（前中間連結会計期間は営業損失189百万円）、経常損失は3,080百万円（前中間連結会計期間は経常損失193百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は17,141百万円（前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純損失196百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

東京の好立地を中心に販売用不動産の仕入れ活動を継続しており、また、2024年12月25日付公表の「株式取得（子会社化）及び資金借入れに関するお知らせ」の通り、東京都内の一等地に多数不動産を保有する株式会社REVO GINZA 1 及び株式会社REVO GINZA 2 を連結子会社化しております。当中間連結会計期間では、東京都大田区の販売用不動産1件を売却しております。この結果、当中間連結会計期間の売上高845百万円（前年同期比114.2%増）、営業利益29百万円（前中間連結会計期間は営業損失12百万円）となりました。

② 投資事業

金融商品への出資、上場会社の第三者割当増資の引き受け等を展開しておりますが、新規の投資は停止しております。この結果、当中間連結会計期間の売上高は無く（前中間連結会計期間も売上高無し）、営業損失1百万円（前中間連結会計期間は営業損失3百万円）となりました。

③ 不動産クレジット事業

新たに不動産融資案件はありませんでした。

この結果、当中間連結会計期間の売上高1百万円（前年同期比66.9%減）、営業利益0百万円（前年同期比97.7%減）となりました。

④ クラウドファンディング事業

クラウドファンディング事業は、2024年10月に連結子会社化したWeCapital株式会社グループで構成されており、当中間連結会計期間から本セグメントの損益の計上を開始しております。この結果、当中間連結会計期間の売上高13,403百万円（前中間連結会計期間は売上高無し）、営業損失2,424百万円（前中間連結会計期間は営業利益無し）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概要

① 流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産は36,080百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,246百万円増加しました。棚卸資産の増加1,864百万円、未収入金の増加1,161百万円が主な要因であります。

② 固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産は11,608百万円となり、前連結会計年度末に比べて6,155百万円減少しました。土地の増加8,713百万円、のれんの減少16,141百万円が主な要因であります。

③ 流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債は33,853百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,616百万円増加しました。匿名組合出資預り金の増加2,493百万円が主な要因であります。

④ 固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債は12,559百万円となり、前連結会計年度末に比べて12,224百万円増加しました。長期借入金の増加10,595百万円が主な要因であります。

⑤ 純資産

当中間連結会計期間末における純資産は1,303百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,751百万円減少しました。親会社株主に帰属する中間純損失の計上17,141百万円が主な要因であります。

この結果、当中間連結会計期間末の総資産は47,717百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,911百万円減少しました。

⑥ キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,678百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは1,638百万円の支出となりました。これは、主として税金等調整前中間純損失17,630百万円及び減損損失15,267百万円の計上、棚卸資産の増加による支出1,864百万円、匿名組合出資預り金の増加による収入2,725百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは8,731百万円の支出となりました。これは、主として新規連結子会社の取得による支出8,525百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは10,759百万円の収入となりました。これは、主として長期借入れによる収入10,589百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

営業外収益、営業外費用、特別損失の計上とともに最近の業績の動向等を踏まえ、2025年4月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び2025年6月23日付の「2025年10月期中間期個別業績予想の修正及び個別決算における特別損失の計上に伴う2025年10月期通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した2025年10月期中間期業績予想と実績に差異が生じ、また、2025年10月期通期業績予想を修正いたしました。詳細については、本日別途公表いたしました「営業外収益、営業外費用、特別損失の計上並びに2025年10月期中間期業績予想と実績の差異及び2025年10月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,293,578	3,702,826
営業未収入金	18,156	19,872
営業投資有価証券	57,268	-
棚卸資産	25,153,153	27,017,417
未収入金	1,565,556	2,727,424
未収還付法人税等	950	168,961
営業貸付金	268,810	603,420
その他	3,477,128	1,844,056
貸倒引当金	△741	△3,259
流動資産合計	33,833,862	36,080,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	99,440	1,579,872
車両運搬具（純額）	1,931	0
工具、器具及び備品（純額）	22,680	19,086
土地	31,747	8,745,152
その他	1,907	979
有形固定資産合計	157,707	10,345,090
無形固定資産		
ソフトウェア	102,259	149,565
ソフトウェア仮勘定	106,251	33,194
のれん	16,141,705	-
その他	586	579
無形固定資産合計	16,350,802	183,339
投資その他の資産		
投資有価証券	786,238	647,340
出資金	23,290	27,331
破産更生債権等	709	2,103
敷金及び保証金	78,412	65,583
その他	367,582	339,061
貸倒引当金	△709	△1,139
投資その他の資産合計	1,255,523	1,080,280
固定資産合計	17,764,033	11,608,710
繰延資産	30,697	27,970
資産合計	51,628,593	47,717,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,158	19,648
短期借入金	3,425,900	3,800,000
1年内返済予定の長期借入金	22,851	13,020
未払費用	1,147,407	-
未払法人税等	178,596	52,701
預り金	49,680	110,329
匿名組合出資預り金	27,065,404	29,558,574
その他	345,916	299,684
流動負債合計	32,237,915	33,853,958
固定負債		
長期借入金	111,547	10,706,890
ノンリコース長期借入金	57,268	-
匿名組合出資預り金	-	232,394
退職給付に係る負債	2,468	4,919
長期預り敷金保証金	8,381	110,658
繰延税金負債	154,201	1,503,014
その他	1,947	1,953
固定負債合計	335,814	12,559,829
負債合計	32,573,730	46,413,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	299,416	299,416
資本剰余金	17,765,323	17,883,666
利益剰余金	△29,041	△17,170,114
自己株式	△4,637	△13,910
株主資本合計	18,031,060	999,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339,004	265,313
その他の包括利益累計額合計	339,004	265,313
新株予約権	95,937	13,775
非支配株主持分	588,861	25,466
純資産合計	19,054,862	1,303,612
負債純資産合計	51,628,593	47,717,400

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月 1 日 至 2024年 4 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月 1 日 至 2025年 4 月30日)
売上高	400,361	14,251,610
売上原価	376,003	14,275,485
売上総利益又は売上総損失(△)	24,358	△23,874
販売費及び一般管理費	214,121	3,100,496
営業損失(△)	△189,763	△3,124,371
営業外収益		
受取利息及び配当金	384	113,379
貸倒引当金戻入額	1,211	-
業務受託収入	16,000	254,545
有価証券運用益	573	31,303
その他	9,850	67,546
営業外収益合計	28,019	466,775
営業外費用		
支払利息	7,260	155,317
貸倒引当金繰入額	-	4,773
業務受託費用	10,976	-
支払手数料	5,100	222,005
貸倒損失	-	4,510
繰延資産償却額	3,739	25,163
その他	4,931	11,284
営業外費用合計	32,007	423,053
経常損失(△)	△193,752	△3,080,649
特別利益		
固定資産売却益	1,727	1,469
新株予約権戻入益	-	64,210
受取還付金	-	161,108
その他	52	-
特別利益合計	1,779	226,788
特別損失		
固定資産除却損	-	39,144
解約違約金等	3,896	-
減損損失	-	15,267,785
特別損失合計	3,896	15,306,930
匿名組合損益分配前税金等調整前中間純損失(△)	△195,868	△18,160,791
匿名組合損益分配額	-	△530,230
税金等調整前中間純損失(△)	△195,868	△17,630,560
法人税、住民税及び事業税	338	5,272
法人税等調整額	-	21,005
法人税等合計	338	26,278
中間純損失(△)	△196,206	△17,656,839
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	-	△515,765
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△196,206	△17,141,073

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月 1 日 至 2024年 4 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月 1 日 至 2025年 4 月30日)
中間純損失 (△)	△196,206	△17,656,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	274,009	△73,691
その他の包括利益合計	274,009	△73,691
中間包括利益	77,802	△17,730,530
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	77,802	△17,214,764
非支配株主に係る中間包括利益	-	△515,765

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△195,868	△17,630,560
減損損失	-	15,267,785
減価償却費	3,902	39,862
繰延資産償却額	3,739	25,163
のれん償却額	-	804,697
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,211	2,947
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9,027	2,450
受取利息及び受取配当金	△3,929	△113,379
支払利息	7,260	155,317
支払手数料	-	222,005
固定資産除却損	-	39,144
固定資産売却損益(△は益)	△1,727	△1,469
有価証券運用損益(△は益)	△573	△31,303
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	-	57,268
借入有価証券の増減額(△は減少)	1,640	-
新株予約権戻入益	-	△64,210
受取還付金	-	△161,108
売上債権の増減額(△は増加)	592	6,045
棚卸資産の増減額(△は増加)	△132,304	△1,864,264
営業貸付金の増減額(△は増加)	△72,800	△334,610
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,232	17,490
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	9,413	4,736
預り金の増減額(△は減少)	△45,644	60,503
匿名組合出資預り金の増減額(△は減少)	-	2,725,563
破産更生債権等の増減額(△は増加)	180	△1,393
その他	△6,080	△722,605
小計	△447,670	△1,493,923
利息及び配当金の受取額	3,929	104,379
利息の支払額	△6,587	△173,798
法人税等の支払額	△541	△74,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	△450,870	△1,638,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,381	△216,068
有形固定資産の売却による収入	1,727	3,431
無形固定資産の取得による支出	△300	△59,317
投資有価証券の取得による支出	△207,281	△31,150
投資有価証券の売却による収入	18,614	95,137
出資金の払込による支出	△6,000	△4,041
敷金及び保証金の差入による支出	△1,169	△673
敷金及び保証金の回収による収入	43,209	6,867
新規連結子会社の取得による支出	-	△8,525,776
その他	△800	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,380	△8,731,590

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年11月 1 日 至 2024年 4 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年11月 1 日 至 2025年 4 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	336,000	374,100
長期借入れによる収入	-	10,589,532
長期借入金の返済による支出	-	△4,020
株式発行による収入	-	70,714
自己株式の処分による収入	-	98
自己株式の取得による支出	△0	△9,371
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,000	-
新株予約権の買取による支出	△3,158	△51,340
新株予約権の発行による収入	-	33,389
新株予約権の発行による支出	-	△21,995
融資手数料の支払による支出	-	△222,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	339,841	10,759,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△280,410	389,247
現金及び現金同等物の期首残高	817,757	3,289,578
現金及び現金同等物の中間期末残高	537,347	3,678,826

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	中間 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	不動産 クレジット 事業	クラウド ファンディング 事業			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	386,861	-	5,545	-	392,406	-	392,406
その他の収益(注) 3	7,955	-	-	-	7,955	-	7,955
外部顧客への売上高	394,816	-	5,545	-	400,361	-	400,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	394,816	-	5,545	-	400,361	-	400,361
セグメント利益又は損失(△)	△12,875	△3,511	3,421	-	△12,964	△176,798	△189,763

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△176,798千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	中間 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	不動産 クレジット 事業	クラウド ファンディング 事業			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	777,699	-	1,837	13,403,927	14,183,464	-	14,183,464
その他の収益(注) 3	68,146	-	-	-	68,146	-	68,146
外部顧客への売上高	845,845	-	1,837	13,403,927	14,251,610	-	14,251,610
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	845,845	-	1,837	13,403,927	14,251,610	-	14,251,610
セグメント利益又は損失(△)	29,866	△1,720	79	△2,424,645	△2,396,419	△727,951	△3,124,371

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△727,951千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるリパーク株式会社及び株式会社REGALEに関し、当初の事業計画に対する進捗状況及び今後の業績の見通しを考慮した結果、当初想定していた超過収益力が見込めなくなると判断し、有形固定資産、無形固定資産及びのれんの減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては194百万円であります。

また「クラウドファンディング事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるWeCapital株式会社に関し、当初の事業計画に対する進捗状況及び今後の業績の見通しを考慮した結果、当初想定していた超過収益力が見込めなくなると判断し、のれんの減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては15,073百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「不動産事業」及び「クラウドファンディング事業」において、上記(固定資産にかかる重要な減損損失)で記載したとおり、のれんの減損損失を計上しております。当該事象によるのれんの減少額は、当中間連結会計期間においては「不動産事業」においては163百万円、「クラウドファンディング事業」においては15,073百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「不動産事業」、「投資事業」、「不動産クレジット事業」を報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度よりWeCapital株式会社及びその子会社を連結子会社としたことを契機に、従来の報告セグメントに加え「クラウドファンディング事業」を報告セグメントとして新たに記載しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した中間連結会計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。